



6月議会報告

おおつぼ涼子議員

私の活動をお知らせします。

6月議会では、私は今回も一般質問に立ち、納税組合、健康診断、JR敷地の3項目で質問しました。
予算委員会では委員長として議事を進行しました。

大坪涼子議員の一般質問②

大坪議員「健診の受診率向上を」

質問 健康診査の受診状況はどうか。

答弁 特定健診 47%、胃がん 12%、大腸がん 16%、肺がん 21%、子宮頸がん 28%、乳がん 37%、前立腺がん 16%であり県平均以上である。

質問 乳がん、子宮頸がん検診での取り組みはどうか。

答弁 乳がん検診は40歳以上、子宮頸がんは20歳以上で隔年に実施している。過去5年間の未受診者へ無料券を交付している。

質問 妊婦健診はどうか。

答弁 14回の妊婦健診に補助し殆んど受診されている。

質問 人間ドッグや脳ドッグについての対策はどうか。

答弁 健診費と自己負担の差額を補助し、脳ドックは脳血管障害予防に効果的であり周知を図る。

大坪涼子議員の一般質問①

大坪議員「納税組合、支援拡充を」 須賀理事「補助金増額をおこなう」

大坪議員は、本市のは、市民が積極的に取り組む納税貯蓄組合への支援拡充を提案しました。

震災で組合数が減るものの多大な貢献

須賀理事は、「納税貯蓄組合には多大な貢献をいただいている。現在、集金を行っている組合が41、組合員個人の口座振替や個人納付を行っている組合が26」と答えました。

本年度は納税組合の補助金を増額する

大坪議員は、納税貯蓄組合の大切な役割と、その苦勞に対し、現在の年間約580万円の支援をさらに拡充するよう求めました。

須賀理事は、「補助金の交付額は、平成28年度は68組合に対して約516万円。また、本年度は加入世帯割補助金の増額を行う」と答えました。

大坪涼子議員の一般質問③

大坪議員「JR敷地の管理を」

質問 荒れたままの鉄道敷地の管理はどうか。

答弁 約12kmの敷地は未整備で、約1.5kmで除草作業、5ヶ所の踏切でレール撤去と再舗装を実施している。

質問 今後の活用はどうか。

答弁 旧陸前矢作駅から竹駒駅の専用道や気仙川鉄橋復旧等についてJR等と協議する。米崎、小友地区では散策ロード要望もあり検討する。

質問 旧脇の沢駅跡地は大震災遺構に保存できないか。

答弁 土地利用計画がなく、地元の話合いが必要である。



【写真】旧・JR脇の沢駅

日本共産党陸前たかた民報

日本共産党陸前高田市委員会 ●高田町字西和野 24-1
2017年7月28日 第410号 ●電話 55-5512

※日本共産党の活動をお知らせします。

「共謀罪」法強行に抗議 市議会が意見書を採択

議会最終日に「共謀罪」法の強行に抗議する意見書発議があり賛成多数で可決。内閣総理大臣他に提出されます。

意見書の提案者は藤倉泰治議員、菅原悟議員、鶴浦昌也議員、及川修一議員が賛成者となって提出されました。

伊勢純議員が賛成討論を行い、世論調査での「法務委員会の採決省略」に67.7%が批判、政府の説明不十分81.3%の結果などを紹介しつつ、「花見で双眼鏡を持参すれば犯罪の下見」というきわめて恣意的で判断基準があいまいな点を批判しました。採決の結果は賛成10、反対6でした。

組織的犯罪処罰法改正案の強行成立に 抗議する意見書（抜粋）

平成29年6月15日の朝、安倍政権は、参院法務委員会での審議を一方的に打ち切り、採決抜きに「中間報告」という異例の手段を使って「共謀罪」法の成立を強行しました。

国会審議での質疑の中で答弁は迷走を続け、審議すればするほど政府の説明は破綻してきました。そのことは国民の間にも疑問や懸念が増加してきたことから明らかです。

今回の「共謀罪」法成立の強行に対して陸前高田市議会の名において、強く抗議するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年6月20日

岩手県陸前高田市議会

提出先：衆参両院議長、内閣総理大臣、法務大臣